

2021年はワクチン接種が進み、昨年よりも状況が良くなるかと期待しておりましたが、デルタ株によりここ東京は過去最高に感染状況が悪化してしまいました。社員の家族が濃厚接触者になったり、子供の保育園の保護者達に陽性者が出てハラハラはしましたが、今のところギリギリセーフで社内に感染者は出ておりません。コロナ禍になりロボットの部品や産業機械向けの部品のご依頼が増えておりましたが、最近では半導体製装置の部品のご依頼量が急増しております。材料不足や半導体不足で先行きがわからず安定しない日々が続いておりますが、社会の役に立つ部品のめっき加工に携われていることに感謝し、コロナ禍がいつか明けることを心より願い、日々邁進して参りたいと思います。

## チラー冷凍機の節電対策実施

弊社のめっきの大事な柱である銀めっき、錫めっきは、めっき液を冷やす必要があります。SDGsや脱炭素社会が叫ばれる中、温暖化が進むことで毎年夏は猛暑と闘わなければならない、むしろデマンドや電気使用量が増加の傾向にありました。「室外機に屋根を付けるとエアコンの電気使用量が減ると聞くけど、チラーにも屋根を付けてみる？」と言うと、「それよりもタンク全体を断熱材で囲むことで保冷ができると思います。」と社員が提案してくれて、昨年の比較的仕事量が少なかった頃のものたろうやホームセンターで材料を集めて、チラーに保冷カバーを作ってくれました。お陰で、今年は昨年と比べ仕事量が1.5倍にも拘わらず、デマンドは昨年よりも低く抑えられ、電気使用量も大幅に増加せずに済みました。

なお京浜島を彩る美しい桜の木も、落ち葉の季節になると、みな頭を悩ませます。なんとこのチラーの機械の中にも落ち葉が混入して掃除が大変だと言うことで、落ち葉カバーも作ってくれました。地球のためにできることを考え、小さな活動をコツコツと続けていきたいと思っております。



## 全社員がワクチン2回接種完了！

65歳以上及び基礎疾患のある社員は自治体による集団接種や医療機関にて、それ以外の社員は東京中小企業家同友会の職域接種にて、新型コロナワクチンの2回の接種を、8月中旬に全社員が完了しました！

希望する同居家族も職域接種にてワクチン接種を受けることができましたので、お取引先の皆様に少しでもご安心をいただければと思っております。

「先手必勝」という言葉がありますが、東京同友会は職域接種への準備の動きが本当に早かったようでしてワクチンを15,000人分も確保され、私共も7月上旬から接種を受けることができ、本当に感謝しております。

しかしながら東京はまだまだ感染者数が多い状況ですので、油断することなく、引き続き感染防止に努めて参ります。

なお、弊社のお取引先様にも9月末までは東京同友会の職域接種(会場:大田区、品川区)のご紹介ができます。残り1,000人を切ったかと思われまので、ご希望の方はできるだけお早めに池田までご連絡ください。

## 第二工場の1階に実験室ができました！

第二工場の1階は中央鍍金の雑居ビルになっております。先日実験室として使われていた企業が退去される噂を聞き、すぐに「うちに貸してください。」と申し出て、素敵な実験室をお借りすることができました。今までは工場の隅っこで分析をしていた社員達が、目をキラキラさせながら分析をしています。ここから新しいめっき加工技術が開花しますように☆



## お問い合わせ

代表取締役 池田 絵理子

営業担当

谷田部 良、中林 広視

Tel 03-3790-2222

info@ikeda-shakyo.cmk.or.jp